

渋沢栄一銅像

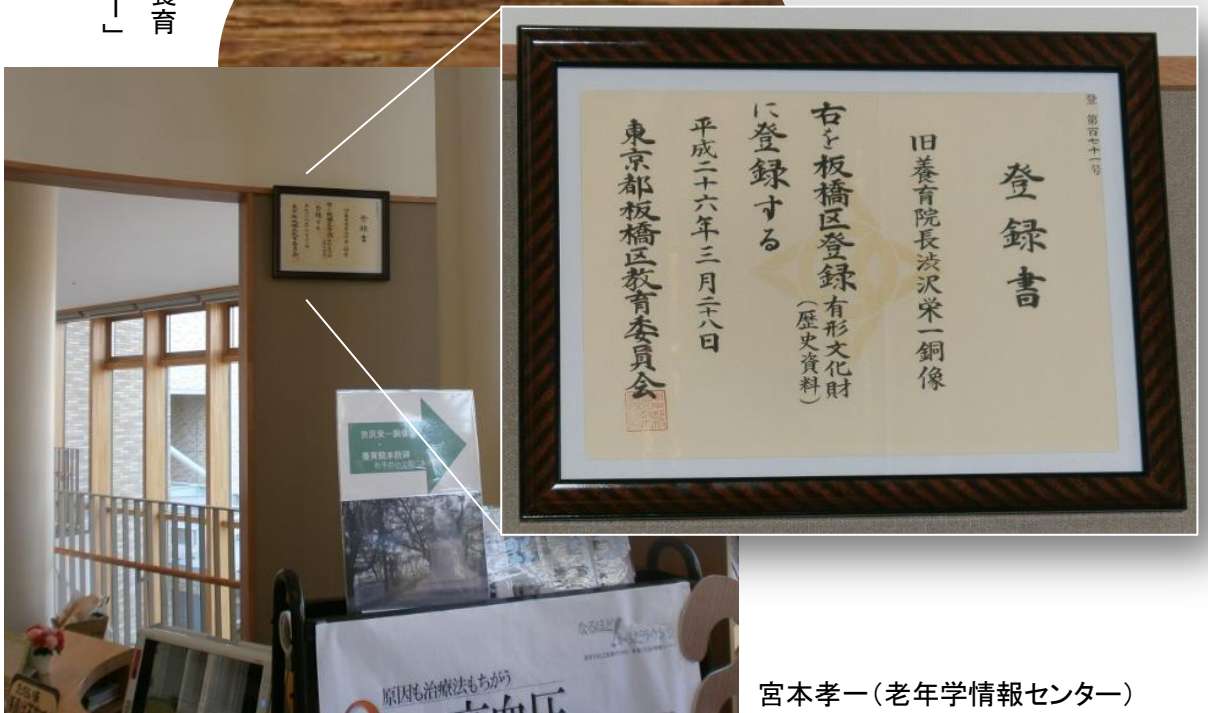
板橋区の有形文化財に登録

健康長寿医療センター敷地内に立つ渋沢栄一銅像が、平成 25 年度板橋区登録有形文化財(歴史資料)に登録されました。

4 月 14 日(月)、センター理事長室で、板橋区教育委員会から松下理事長に登録書が手渡されました。



登録書は、二階「養育院・渋沢記念コーナー」に掲示しています。



旧養育院渋沢栄一銅像とは



銅像は、関東大震災による養育院大塚本院崩壊に伴い、大正十二年、既に分院があつた板橋へ本院移転が決まったことを契機として、十三年に東京市長永田秀一郎らが発起人となり「渋沢養育院長銅像建設会」を設立、六五〇名余りの寄付を募り製作し大正十四年（一九一五）十一月十五日、本院完成にあわせて建立しました。

当初は養育院本院の事務室があつた、現在の板橋第一中学校内に建てられました。その後転々と位置を変えています。

昭和十六年に金属供出のため台座から下ろされ、代わりにコンクリート製像が台座に置かれていました。

戦後昭和三二年の像移転の際に元の銅像に戻され、平成二五年六月東京都健康長寿医療センターの開院を

機に現在地へ移設しました。

渋沢栄一像は、帝展・文展の審査員も務めた彫刻家小倉右一郎製作、完成当時は高さ十六尺（四・三メートル）、方二〇尺（五・四メートル）の花崗岩の台座に、高さ一〇尺（三・七五メートル）、重量四八〇貫（一・八トン）の青銅製で作られ、その姿はフロックコートにソファーに座つた坐像です。

（板橋区ホームページ「旧養育院渋沢栄一銅像」より）

